

教育活動の様子(教材・教具)

今回は、本校で使用している教材や教具についてお知らせします。

学習内容や活動に応じて、教材や教具を用意します。児童・生徒の体の状態に合わせて、扱いやすい道具を用意したり、動きを補助することにより自分でできるまたは、動きを身につけることができる教材や教具を使ったりします。

また教材を見やすく、わかりやすく提示することで、自分で作業を進める力を伸ばすなど、視覚支援も行っています。

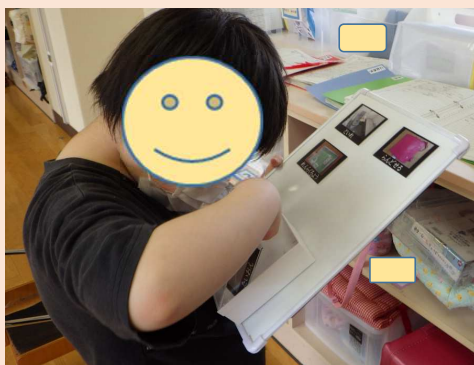


床の雑巾がけをしています。「フリークローラー」を使って、動きや姿勢を補助することで、無理のない体勢でスムーズに進むことができ、自主的・意欲的に取り組んでいます。毎日続けることで、腕や足の動作性、体幹を保持する力の向上にもつながります。

1日の予定を、大きなボードに貼って、見やすく提示しています。絵や写真、文字など、児童・生徒に応じて分かりやすい物を提示するようにしています。このクラスでは、朝の会で活動のはじまりに歌っている歌をワンフレーズずつ歌いながら順にカードを貼ることで、予定を確認しています。

各授業でも同様に、授業内容や活動の手順、活動のグループなどをカードで提示しています。

予定や活動内容が分かり、見通しがもてることで、落ち着いて過ごすことができます。



朝の支度の内容を、写真カードでわかりやすく提示しています。終わったものをケースに入れることで、何が残っているのかを視覚で捉えることができます。

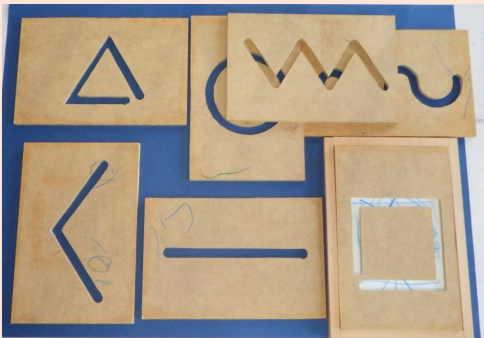
この他にも、上から順に提示してカードをはがしていく、順に提示した表にチェックを入れていく、カードをめくっていくなどの方法があります。身についてきたら、提示の仕方を変えるなど、徐々に支援を減らしていきます。

教材・教具展

本校では、毎年「教材・教具展」を開催しています。日々の教育活動に合わせて、児童生徒にとっての扱いやすさ、分かりやすさなどを考慮して、教材・教具を自作しています。教職員間で、教材・教具を見合うことにより、学び合い、次の指導に活かすようにしています。



こちらは、お店屋さんのごっこ遊びを通して、大小の感覚を学ぶ教材です。児童の経験から食材を選び、興味を持てるよう工夫しました。実際に授業で使用すると、大小を見比べる様子が見られました。個別の授業だけでなく、集団授業でも活用しました。



こちらは、運筆練習の教材です。始点と終点を意識して、枠に沿って線や形を書きます。直線や曲線などいろいろな練習ができるよう、型を作りました。



こちらは、ひらがなの見本合わせの教材です。上部左に見本を提示し、下部の2つの文字から見本と同じ文字を選び、見本の右横の枠に入れます。見本と違う文字を入れる箱を用意し、「違う」ということを意識できるようにしました。見本の文字に重ねたアクリル板の文字を見本から答えにスライドさせ、同じ文字であることを自分で確認できるように工夫しました。



こちらは、1～20の数字並べの教材です。ホワイトボードにバラバラに並べて提示された10までの数字を、1から順に選び、下の枠に入れます。10まで並べたら、11～20も同様に行います。見やすい色にしたり、操作しやすいように厚みを持たせたりしました。手元を見て操作する力が高まるよう、枠にスライドさせながら入れるしくみにしました。